

19 防災教育全体計画

学校教育目標				
確かな学力を身につけ、心豊かで生きあふれる生徒の育成				
防災教育の目的				
防災教育は、学校や地域をはじめ、様々な機会・場を活用し、以下の4つの能力を身につけさせ、それにより「生きる力」を涵養し、能動的に防災に取り組むことができる生徒を育成する。				
① それぞれが暮らす地域の災害や社会の特性、防災科学技術の知見等について知識を身につけ、防災・減災のために事前に備え、行動する能力。				
② 自然災害から身を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力。				
③ 災害からの復興を成し遂げ、安心・安全な社会に立て直す能力。				
④ 進んで他の人々や地域の安全を支える能力。				
推 進 の 視 点				
防災体制の整備と充実		防災教育の推進		指導力・実践力の向上
・教職員の役割の明確化と家庭や地域及び関係機関との連携。		・教育活動全体を通した防災教育の推進。		・教職員の防災に対する知識や技術向上。
・災害時の危機管理能力の向上と防災マニュアルの整備・作成。		・効果的な防災訓練の実施と改善。		・応急処置能力の向上。
・日常の安全管理と避難経路の点検。		・生徒が主体で防災マップの作成。		・防災教育カリキュラムの工夫・改善。
				・生徒に対する心のケア等の校内研修の充実。
1 年		2 年		3 年
① 発生時には、近く大人の指示に従うとともに、主体的な判断で適切な行動をすることができる。		① 発生時には、自らの判断で危険を回避するとともに、二次災害を防ぐことができる。		① 発生時には、自らの判断で危険を回避するとともに、二次災害を防ぐことができる。
② 発生時の危険な場所(屋内外)を認知するとともに地域の避難所や避難場所を知る。		② 災害の基本的な特色や様々な危険について理解するとともに、地域の避難所や家族との連絡方法について理解する。		② 地域や行政の災害時の対応や情報伝達の方法を理解する。
③ 基本的な生活習慣を身につけ、生命を大切にする心を持ち、他と強調することができる。		③ 生命の大切さを感じ取るとともに、家族や友達などと助け合うことができる。		③ 事故の安全だけでなく、他の人々の安全にも配慮することができる。また、周囲の人々と助け合い、地域に役立つことができる。
1年 ～ 3年	教科	道 徳	特別活動	総合的な学習の時間
	・科学的思考力、判断力の育成。 ・災害のメカニズム、地域の特性、防災体制等の知識、理解。 ・防災意識の高揚。 ・ボランティア精神の育成。 ・応急処置の体得。 [全教科]	・生命の尊重、共生等人権尊重の精神を育成。 ・ボランティア精神及び優しさや思いやりの心の育成。 ・感謝の心の育成。 ・仲間づくり	・備蓄、災害時の安全確保、的確な判断や行動等実践的能力の育成。 ・避難訓練の実施。(年2回) ・自ら困難を克服する態度や実践力の育成。 ・自主性やボランティア精神の育成。	・防災の歴史を学び、今後の防災体制について考える態度の育成。 ・防災意識の高揚(校内安全点検、防災マップづくり) ・災害時における学校が果たす役割について理解する態度の育成。
家庭・地域との連携		行政・情報機関との連携		
・地域・家庭と連携した防災訓練の実施。		・自治体の防災担当部局との学校防災についての連携体制の構築		
・防災マップと生徒の引き渡し(PTAの協力)		・防災に関する科学技術の活用		
・ボランティア活動等の機会や場の充実				